

総合評価方式の平成21年度実施結果について

対象工事...平成21年4月～22年3月までに契約した工事(平成21年度起工分)

項目	H21.4適用基準				H21.11適用基準				備考	結果 (基準改正後の特徴)
	特別簡易型	簡易型	標準型	計	特別簡易型	簡易型	標準型	計		
1. 対象件数(件)	703 (75%)	212 (23%)	27 (3%)	942	294 (84%)	54 (15%)	1 (0.3%)	349	・基準改正後の工事件数は349件となっている。 ・基準改正後、簡易型、標準型の適用はまだ少ない。	
低入札価格調査制度	697	194	11	902	294	53	1	348		
施工体制事前提出方式	6	18	16	40	0	1	0	1		
2. 落札率(%)									・基準改正前に比べて平均落札率が2.5%程度高くなっている。 ・条件付一般競争入札に比べてやや高くなっている。	
平均	84.64	86.04	87.00	85.03	87.14	88.09	88.13	87.61		
最高	99.93	99.95	97.38	99.95	99.56	99.18	88.13	99.56		
最低	75.69	79.15	81.47	75.69	75.08	81.49	88.13	75.08		
条件付一般競争入札の平均	(4月～11月の平均)			84.02	(12月～3月の平均)			87.03		
3. 落札率(%) (制度別)										
低入札価格調査制度	84.65	86.20	86.39	85.01	87.14	88.19	88.13	87.62		
施工体制事前提出方式	83.70	84.33	87.42	85.48	-	82.87	-	82.87		
4. 入札参加者数(者)									・基準改正前に比べてやや少なくなっている。 ・条件付一般競争入札と比較しても少ない。	
平均	5.8	5.2	4.6	5.6	5.0	5.4	2.0	5.0		
最大	24.0	19.0	16.0	24.0	20.0	21.0	2.0	21.0		
最小	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	2.0	1.0		
条件付一般競争入札の平均	(4月～11月の平均)			8.8	(12月～3月の平均)			7.9		
5. 加算点(点)	特別簡易(20点)	簡易(35点)	標準(55点)		特別簡易(20点)	簡易(35点)	標準(55点)		・特別簡易型、簡易型とも、平均点が高くなっている。(標準型については、実施件数が少ないため、引き続き検証する必要がある。)	
平均	11.8	20.1	26.7		12.8	21.9	33.8			
最高	20.0	35.0	50.0		20.0	34.5	37.0			
最低	0.0	1.5	2.0		0.0	1.5	30.5			
6. 価格逆転件数(件)									・価格が1位以外で落札者となった案件。	・特別簡易型の価格逆転件数割合が基準改正前より少なくなっている。
件数	429	130	15	574	156	34	1	191		
逆転件数/実施件数(%)	61.0%	61.3%	55.6%	60.9%	53.1%	63.0%	100.0%	54.7%		
7. 落札者の状況(件)	703	212	27	942	294	54	1	349	・()加算点が1位の場合の価格逆転件数割合が特別簡易型で減少している。 「6. 価格逆転件数(件)」に相当	
価格:加算点=1位:1位	210 (30%)	67 (32%)	10 (37%)	287 (30%)	111 (38%)	19 (35%)	0 (0%)	130 (37%)		
価格:加算点=1位:2位以下	63 (9%)	14 (7%)	2 (7%)	79 (8%)	27 (9%)	1 (2%)	0 (0%)	28 (8%)		
価格:加算点=2位以下:1位	331 (47%)	106 (50%)	13 (48%)	448 (48%)	113 (38%)	27 (50%)	1 (100%)	141 (40%)		
価格、加算点ともに1位以外	99 (14%)	25 (12%)	2 (7%)	126 (13%)	43 (15%)	7 (13%)	0 (0%)	50 (14%)		

総合評価方式の平成21年度実施結果について

対象工事...平成21年4月～22年3月までに契約した工事(平成21年度起工分)

項目	H21.4適用基準				H21.11適用基準				備考	結果 (基準改正後の特徴)	
	特別簡易型	簡易型	標準型	計	特別簡易型	簡易型	標準型	計			
8. 評価基準価格を下回った件数(件)									・入札額が評価基準価格を下回った場合、入札額ではなく評価基準価格で評価する。 ・評価基準価格の適用により、落札者が逆転した件数及び割合。	・評価基準価格適用件数は基準改正前とほぼ同等の割合となっている。 ・一方、評価基準価格の適用による逆転件数割合は増加している。	
件数	479	141	17	637	187	36	0	223			
件数/実施件数(%)	68.1%	66.5%	63.0%	67.6%	63.6%	66.7%	0.0%	63.9%			
うち落札者逆転	188	30	3	221	82	14	0	96			
落札者逆転件数/件数(%)	39.2%	21.3%	17.6%	34.7%	43.9%	38.9%	0.0%	43.0%			
9. 低入札価格調査の対象件数(件)									・低入札対策として配置技術者の複数配置等を義務づけているが、対応困難の場合、落札者決定前の辞退を認めている。	・低入札価格調査案件の発生割合は基準改正前とほぼ同数となっている。	
a 基準を下回った低入札案件	90	25	1	116	41	5	0	46			
低入札件数/対象件数(%)	12.9%	12.9%	9.1%	12.9%	13.9%	9.4%	0.0%	13.2%			
失格基準該当	54	18	1	73	19	3	0	22			
辞退	19	2	0	21	19	1	0	20			
b 低入札価格調査の実施件数	22	4	0	26	9	1	0	10			
c 低入札価格調査で失格した件数	0	0	0	0	0	0	0	0			
(b-c)/a 低入札案件の内、契約した件数の割合	24.4%	16.0%	0.0%	22.4%	22.0%	20.0%	0.0%	21.7%			
10. 失格基準に該当した工事件数(件)									・失格基準に該当する件数割合は基準改正前に比べて減少している。		
低入札価格調査制度	54	18	1	73	19	3	0	22			
施工体制事前提出方式	0	3	0	3	-	0	-	0			
上記合計	54	21	1	76	19	3	0	22			
上記合計/実施件数(%)	7.7%	9.9%	3.7%	8.1%	6.5%	5.6%	0.0%	6.3%			
11. 評価項目毎の入札参加者得点割合(%) (配点は簡易型の例(35点満点))											
(↑) 企業の技術力	施工能力 (簡易・標準1点 過去10年以内の実績) 特別簡易 4点 過去5年以内の実績	81%	84%	77%	81%	(計82%) 75%	83%	100%	82%	(特別簡易型) ・実績の期間を10年から15年に改正した。 ・近年の実績ほど高い配点とした。	(特別簡易型) ・施工能力の得点割合は4点の場合(直近の実績)が最も高い。
	(特別簡易 3点) 過去5年より前で10年以内の実績					7%					
	(特別簡易 1点) 過去10年より前で15年以内の実績					1%					

総合評価方式の平成21年度実施結果について

対象工事...平成21年4月～22年3月までに契約した工事(平成21年度起工分)

項目	H21.4適用基準				H21.11適用基準				備考	結果 (基準改正後の特徴)	
	特別簡易型	簡易型	標準型	計	特別簡易型	簡易型	標準型	計			
(1) 企業の技術力	工事成績 (簡易・標準 1点) 工事成績評定点 80点以上 (特別簡易 4点) 工事成績評定点 90点以上	64%	66%	58%	64%	(計64%)	70%	100%	65%	(特別簡易型) ・評価対象となる工事成績評定点を80点以上から75点以上に改正した。 ・工事成績評定点に応じた配点を設定した。	(特別簡易型) ・工事成績点の得点割合は3点の場合(80点以上90点未満)が最も高い。
	(特別簡易 3点) 工事成績評定点 80点以上 90点未満					3%					
	(特別簡易 1点) 工事成績評定点 75点以上 80点未満					11%					
	優良工事 (簡易・標準 1点) 過去10年度以内の受賞実績 (特別簡易 1点) 過去5年度以内の受賞実績 (特別簡易 0.5点) 過去5年度より前で10年度以内の受賞実績	12%	22%	23%	14%	(計11%)	16%	100%	12%	(特別簡易型) ・近年の表彰実績に高い配点を設定した。	・基準改正前と同様に優良工事实績の得点割合が低い。
	(特別簡易 0.5点) 過去5年度より前で10年度以内の受賞実績					7%					
	品質管理(0.5点)		75%	79%	75%		88%	100%	88%		
	技術者確保数(0.5点)		86%	79%	86%		86%	50%	86%		
技能士(0.5点)		5%	7%	5%		3%	50%	3%	上記で得点できない場合		
H21小計(4点)									(特別簡易型は9点)		
(2) 配置技術者の技術力	施工能力(1点)		58%	54%	57%		54%	100%	54%		・基準改正前と同様に優良工事实績の得点割合が低い。
	工事成績(1点)		35%	24%	34%		32%	100%	32%		
	優良工事(1点)		6%	3%	5%		4%	50%	5%		
	資格保有年数(0.5点)		60%	65%	61%		62%	100%	62%		
	継続教育(0.5点)		4%	1%	4%		7%	0%	7%	上記で得点できない場合	
	H21小計 (3.5点)										
(3) 企業に対する地域社会	障がい者雇用(0.5点)		38%	37%	38%		49%	100%	50%		・年々得点割合が高くなる傾向が見られる。 殆どの項目で基準改正後の得点割合が上昇している。
	安全管理(0.5点)		44%	48%	44%		58%	100%	58%		
	環境配慮(0.5点)		26%	35%	27%		38%	50%	38%		
	県内業者活用(1点)		88%	69%	86%		88%	100%	88%		
	子育て応援(0.5点)		23%	20%	23%		41%	100%	42%		
	仕事と生活の調和(0.5点)		56%	42%	55%		67%	100%	67%		

総合評価方式の平成21年度実施結果について

対象工事...平成21年4月～22年3月までに契約した工事(平成21年度起工分)

項目	H21.4適用基準				H21.11適用基準				備考	結果 (基準改正後の特徴)	
	特別簡易型	簡易型	標準型	計	特別簡易型	簡易型	標準型	計			
新分野(1点)		40%	37%	39%		41%	50%	41%			
同一市町村実績(2.5点)	76%	81%	75%	77%	87%	79%	100%	85%	(特別簡易型は2点)	・同一市町村における工事実績、入札参加者の所在地及びボランティアについても、得点割合が増加している。	
入札参加者の所在地(2.5点)	81%	81%	60%	80%	87%	79%	100%	86%	(特別簡易型は2点)		
ボランティア(2点)	66%	73%	53%	67%	77%	76%	50%	77%	(特別簡易型は1点)		
消防団継続加入 (3名以上)(1.0点)	26%	33%	40%	28%	27%	30%	100%	28%		・消防団継続加入状況の内、3名以上の得点割合が低い。	
(1～2名)(0.5点)	34%	32%	13%	33%	35%	36%	0%	35%			
選択項目	災害出動 (2.5点)	53%	59%	48%	54%	48%	58%	100%	49%		・災害応援協定の得点割合が増加している。 ・新卒・離職者の雇用実績、雇用の維持・確保とも得点割合は10%を超えている。
	災害応援協定 (2.5点)	14%	15%	8%	14%	23%	13%	0%	22%	配点を1.0点から2.5点に改正	
	新卒・離職者の雇用実績 (2名以上雇用) (2.5点)					9%	9%	50%	9%	} 新規設定項目 計 15%	
	(1名雇用) (1.5点)					7%	4%	0%	6%		
	雇用の維持・確保 (1名以上増加) (2.5点)					10%	7%	0%	9%	} 新規設定項目 計 16%	
	(同数) (1.5点)					8%	2%	0%	7%		
	除雪・維持補修 (2.5点)	58%	61%	43%	58%	68%	77%	50%	69%	一般土木工事、舗装工事のみに限定した。	
H21小計(17.5点)									(特別簡易型は11点)		
施工計画	(4) 施工計画(10点)		5.1点	4.8点	5.1点		5.9点	9.0点	6.0点	入札参加者平均得点	
	H21小計(10点)										
標準型	(5) 技術提案(20点)			4.6点 (1項目 10点)	8.5点 (1項目 20点)			0.5点 (1項目 10点)	-	入札参加者平均得点	
備考	<ul style="list-style-type: none"> 平成21年11月に新たに評価項目に設定した「新卒・離職者の雇用実績」、「雇用の維持・確保」の得点状況はいずれも10%を超えている。 特別簡易型における価格逆転が減少するなど、基準改正の効果も見られる。 平成22年度については、加算点の得点状況、価格逆転状況及び低入札案件の発生状況に着目し、入札結果を検証したい。 										